

いわふね
自然愛好会
会 報

2025. 8. 29

第 62 号

発行:いわふね

自然愛好会

(2025. 2 月～2025. 8 月までの記事)

2025 年度 第 1 回 自然観察会 (2025/3/30 (日))
参加者 13 名 お幕場～大池自然観察会



いわふね自然愛好会 会員 渋谷 栄

お幕場森林公園に入るとオクチョウジザクラ、ウワミズザクラに迎えられた。一帯が赤松の高い古木に覆われ、自然豊かな所。整備された遊歩道には松の落葉で敷かれたふかふかの道を歩く。又、森の中には花を咲かせる低木や草花が数多く有る。やっと芽吹いて良く観察しないと解らない様な木々。



オクチョウジザクラ

アカメガシワ、ガマズミ、ニワトコ等の木肌をさすり、木の芽を良く見ながら観察し、その特徴のいくつかを教えていただいた。

当日、雨模様でしたが、広大な自然の中で様々な植物とふれ合い、観察するのに最高の場所であった。

歩き進むと左右にはタラノキが人の手で整えられたように低く、縦一列に並んでいた。

下にはスイバ、タンポポ、ブタナ、トウゴクシダ等々、他にも草花が数多く有ったが、花は未だこれからの様だ。

このように素晴らしい自然環境の中、地域住民の茶会やレクリエーションが催されていると聞いている。

聞くとところによると、昔、赤松林に幕を張り、村上藩主やその奥方の行楽の場、又、家臣の宴会の場として楽しんだとの事。古に心を偲ばれる様な思いであった。

次に少し古びた様な橋を渡り、白鳥の飛来する地として知られる大池へ。

湖上に出島のようなつき出た所で白鳥・水鳥等観察。

シベリアの方へ飛び立ったのか数は少なかった。そこで集合写真を撮り、帰路に向かった。



フユイチゴ

幕場～大池自然観察会に参加して

春日 洋介さん

新潟市より移住して、まもなく3年になりますが、初めてこの会の行事に参加させて頂きました。

普段は小動物が好きで野鳥やリス、ウサギなどを追っかけている事が多いです。

今回は植物観察の傍ら、そういった小動物との出会いを期待しましたが、当日はあいにくの天気で生き物が活動するには寒過ぎたようです。

その分、植物観察に集中でき、多くの知見を得ました。が、果たしてどれだけ記憶に残るかは謎です。

それにしても、会員の皆さんの観察眼と探究心には恐れ入ります。あらためて、好奇心は生きる活力だなあと感じました。

私自身、森林環境の整備、再生にこれから関わっていきたいと考えているので、今後も貴重な情報収集の場として参加したいと思います。

皆様、小雨の降る中お疲れ様でした。

お幕場～大池自然観察会に参加して

菅井 結生さん(小4)

三月三十日に、わたしは自然観察会に参加しました。

まだ外を歩くにはとても寒くて、セーターとダウンコートを着て参加しました。

車で近くは通ったことはあるけれど、緑の葉っぱや花も見えたことがなかったので、まだ植物の芽や葉っぱは見られないだろうと思っていました。でも、当日歩いて見るとたくさんの木の芽を見ることができました。

わたしが一番うれしかった事はわたしの大好きな「ハリーポッター」に出てくるつえの材料になる「ニワトコ」の木を教えてもらったことです。他にも芽の出るむきで種類が分かれると聞いておどろきました。

ムラサキシキブの芽は見る事ができたので、また、自然観察会に参加したときには、葉っぱや夏にさく花や秋のきれいな実を順番に見られたらいいなと思います。

たくさんわたしの知らないことを教えていただきありがとうございました。

天蓋高原高根交流広場周辺自然観察会 (5/18 (日))



出会った植物の一部



アカイタヤの実生



オニグルミの雌花

天蓋高原自然観察会に参加して

佐藤 さん

5月18日、天蓋高原自然観察会が行われました。当日は、明け方まで雨が降っていましたが、観察会開始のころになると、雨も小康状態となりました。豊かな自然に育まれた木々や野草は、水の恵みをたっぷりと受け取り、生き生きと様々な緑色に輝いていました。草木の萌える香りに満たされながら、天蓋高原の自然を観察しました。

さまざまな植物との出会い、自然の美しさを堪能しました。小雨も降りましたが、木々の葉が雨を受け止めてくれたので、快適に散策することができました。途中、ブナの赤ちゃんをたくさん見つけ、森が継続していくことを再確認しました。

自然愛好会のみなさんには大変お世話になりました。ワクワクする楽しい時間をみなさんと共有できて感謝いたします。ありがとうございました。

(ブナの実生)



高根の自然観察会

いわふね自然愛好会 会員

佐藤 美和子

朝から小雨のお天気でしたが、大降りもなく、木々達は瑞々しく、観察会にはピッタリでした。

道すがら大物のアケビのつるやクレソンを採ってもらったりしてとても楽しい！茹でて温玉をのつけたらサイコーですね！

(※温玉：温泉卵)

ヒルガオやハマヒルガオのつるも美味しいんですよ。野草料理にハマります。

毎回参加して思うのは、先生たちがとても楽しそうにしていらっしゃる事です。

私もそんな風にして生きて行きたいと思います。

※オランダガラシ (クレソン)



栗島研修旅行 6月29日(日)30日(月)

見事なフェリーをバックに記念写真

お二人の本保さんも入っています。



パノラマ新道の入り口



梅田会長はこの後、内浦方面で地層・岩石の学習。乙姫の湯で合流予定。

ここから薮漕ぎ。

日陰を見つけて弁当を食べる。道はあったので遭難の心配はなかったのですが、観察どころではありませんでした。

栗島 宿泊研修の感想

いわふね自然愛好会 会員

本間 繁寿

6月29日 天気晴朗波穏やか。

フェリーを降りると真っ先にドローン（かもめ）の歓迎を受け、栗島へ来た感じがしました。

ここで会員二人の本保さんが出迎えて下さいました。

私は初めてお会いすることができました。

その後、民宿のバスでパノラマ新道に向かい観察会に入り、ヤブランやエビ



ネの大きな株に出会い、植物の歓迎も受けたと感じました。私が最も驚いたのはヤダケのトンネルでした。映画やテレビのロケーションにも使われそうな所でびっくりしました。

夜は民宿で食事。残念ながら都合上、

出席できなかった両本保さんより、凄い御馳走の差し入れがありびっくりし、美味しく頂きました。こんな料理は人生で二度と食べられないと思います。

翌日は、岩と植物に分かれて、観察会を始め、植物班は暑い中、八幡鼻まで半分観察会、半分ウォーキングや観光を行いました。

帰りは本保銀一さんが見送りにいらして下さいました。フェリーからお互い手を振ったり、帽子を振ったりして別れを惜しみました。

栗島は魚は新鮮でおいしく、温泉も丁度いい湯加減で体を休めてくれ、湯上り



のビールも飲めて充実した二日間でした。

監事さんご苦労様でした。又、来年

もよろしく願います。

粟島の宿泊研修に参加して
いわふね自然愛好会 会員 田川 晴子

6月29日（日）、30日（月）の両日、待ち焦がれた宿泊研修。島外からの参加者13名で実施。

29日の天気は申し分ない晴。海はさざ波も無い程穏やか。船は滑るように進み着岸。下船。

下船すると本保銀一さんと本保建男さんの出迎えをいただきました。挨拶もそこそこ、宿のマイクロバスに乗り込み観察の目的地パノラマ新道に直行。春には下草刈をしたということで道は荒れているかもと出発した。

いざ、入ってみると観察するというより人の背丈を越える植物に阻まれやぶこぎ状態の進路。ここは道なの？と思わせる足元、あわや「老人12名遭難」の言葉が頭をよぎる。ただ、ヤダケのトンネルはすばらしかった。

畑が見え、車の通る道に出た時にはホット胸をなでおろした次第。

中村さん、やぶこぎの先頭、本当にお疲れさまでした。

夕食は島の食事らしく、お魚尽くしのお膳。おいしかった。また、本保さんよ

り鯛の見事な活造り2盛り、差し入れがありました。

2日目、30日（月）は八幡鼻に向かいました。自分の体力に応じて、八幡神社まで行く人、八幡鼻の途中まで行く人、八幡鼻の先端まで行く人と、距離は自分で選択して行動しました。

帰りの船には本保さんが見送りに来てくださり、見えなくなるまで手を振っていただきました。

また一つ良い思い出ができました。

立案から計画、実施までご苦労頂きありがとうございました。心よりお礼申し上げます。



ヤダケのトンネル

（夜の食事の様子）



いわふね自然愛好会会報 第62号
発行者：会長 梅田 温海
〒958-0853 村上市山居町1-3-52
Tel. 0254-53-4493
E-mail :aumeda@lime.ocn.ne.jp
編集：会報担当 中村 巖



【おくやみ】

会員で顧問の古山常治氏が8月5日心不全でお亡くなりになりました。96歳でした。

氏は、山北小校長、山北公民館長、山北（村上市）猟友会長、山北老人会長を歴任。



当会とは設立発起人のメンバーで主として、哺乳類の調査を担当し、要害山、高坪山等の哺乳動物の報告書も執筆されました。最近では体の調子が思わしくなかったようで、退会申出があったばかりでした。

おくやみ申し上げます。